

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談

2. 日時：令和3年12月17日(金)16時00分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、北條主任技術研究調査官、有吉上席安全審査官

文部科学省

原子力課 核燃料サイクル室

横井核燃料サイクル推進調整官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 本部長 他7名

高速増殖原型炉もんじゅ 廃止措置計画課長 他1名

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、配付資料に基づきもんじゅの廃止措置第2段階以降の廃止措置計画の検討状況について説明を受けた。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

（資料2について）

- ・炉心からのしゃへい体等取出し作業におけるナトリウム液位を SsL とすることについて燃料交換設備への影響が検討されているが、今回の説明は詳細検討の一部であるため、引き続き全般的な検討結果を説明すること。
- ・この作業でナトリウム液位を SsL とする場合は実績が十分でないため、以前から慎重な運用を求めている。この趣旨を踏まえ、性能維持施設機器に関する取り扱いの考えを資料中に記載すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：「もんじゅ」の燃料体取出し作業の進捗状況について

資料2：第2段階におけるナトリウム搬出の実施計画（案）

資料3：しゃへい体等取出し時の原子炉容器内ナトリウム液位の設定について

資料4：第2段階に係る廃止措置計画の初回の変更認可申請の考え方について